

ごみかんよりお知らせ



今年も交流集会ができません…



6月に開催してきた「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩」は昨年に引き続きやむなく開催を中止しますが…代わりに次号の「ごみと・SUNで生ごみリサイクルの大特集を組むことになりました。乞うご期待！」

全国ネットワーク主催 容器包装の3Rを進める

「プラスチック削減」オンライン連続セミナーのお知らせ

6/26 (土) 10:00 ~ 11:30

第5回は…「プラスチック汚染：世界と日本の今」

井田徹治 (共同通信社編集委員・論説委員)をお招きします。

*参加費無料

*メールで申込み 件名:「第5回プラ削減オンラインセミナー 6月26日視聴希望」
氏名、所属、TELを明記の上 reuse@citizens-i.orgへ

*申し込みメアドへ「申込みを受け付け確認」と、当日2日前に参加URLをお送りします。

*次回以降の講座予定

第6回 7/13(火)19:30 ~ 21:00 「プラスチック資源循環について」

講師：平尾禎秀 (環境省リサイクル推進室室長)

*このごみ日記

1年前の5月発行のごみと・SUNに「巣鴨でひとり暮らしをしている90才の母が転倒して腰を強打、寝たきりになったので介護に通っている」という話をつぶやきました。あれから1年とちよつと。母はどうなったかという：見事に復活し、介護サービスを利用することで、以前より活気のあるひとり暮らしを続行しています。

とはいえ、神経を圧迫したことによる痛みはなかなかひかず、鍼灸やマッサージを利用し、最後は神経ブロック注射も打って、なんとか家の中を動くことができるようになったのが転倒から3ヵ月後。その頃からヘルパーさんが週に3回、1時間だけ訪問してくれるようになりました。毎日顔を合わせてだんだんと話もなくなり、ケンカも増えてきた娘たちに代って、気持ちよく話を聞いてくれる気立のいいヘルパーさんが来てくれて、母は上機嫌。

そして、だんだん体が動くようになったら、膝が悪いヘルパーさんが来る前には、先に自分でかさばるものや重いものを買ってくる、お掃除をしてくれるヘルパーさんは子どもがいっぱいいて疲れているからと、自分で先にざつと掃除すると、なんだかおこなことをしていますが、はりきって楽しそうです。

レンタル器具の会社の担当さんは爽やかなお兄さんなので、嫌がっていた歩行器も「Tさんに似合いそうな、全然年寄りっぽくないかっこいいのがあるんですよ」なんて言われて、すんなり導入。疲れたらこれに座れるので、安心して近くの地藏通りに買い物に行けるようになりました。巣鴨で生まれ育った母。半年以上姿を見せなかったので、秋になって歩行器で歩いていたら、通りの商店から「あれ！Tさん、生きてたんだ！」と声をかけられていました。

寝たきりになったのが最初の緊急事態宣言が出た時でしたが、やむなく私・妹・弟、鍼灸師さん、在宅医療のスタッフさん、ヘルパーさん…ずいぶん大勢の人が母の家に出入りすることになりました。また「ひとり暮らしを続けて自由に外食すること」を夢見て痛みに耐えた母なので、元氣になった今、蕎麦屋、喫茶店、ファミレスなどに毎日のように通っています。「感染リスク、高い生活だな」と思うのですが、これが母にとって「生きていく」ということなので良しとしよう、何かあっても誰も責めず、後悔もしないようによし、と妹弟と言いつつ合っている今日この頃です。

ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円 (一口)

郵便振替 □座名：ごみ・環境ビジョン21
□座番号：00130-1-603521

◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。